

ファニー・マセッリ先生 公開レッスン 2019年5月23日

パリ室内管弦楽団のソロファゴット奏者で、パリ国立高等音楽院のアシスタント・プロフェッサーを努められておりますファニー・マセッリ先生の公開レッスンが2019年5月23日に行われました。マセッリ先生はイタリア出身、トリノのヴェルディ音楽院で学ばれた後、ウィーン国立音楽大学でミラン・トゥルコヴィッチ氏に、パリ国立高等音楽院でジルベール・オダン氏に師事しました。

レッスンでは、いかに息をしっかりと使うことが重要か、どのようにレガートを表現すれば良いか、基本的な練習方やフレーズの中での息の使い方を具体的に説明しながら、実際に吹いてその違いを明確に示してくださっていました。また作品の解釈についても、フレーズをいかに構築していくか、和音の構成や進行によるトリルの処理の仕方や装飾音の解釈なども、ウィーンとパリの考え方の違いなどを例にあげながら、明確に説明してくださりました。

その後、マスターオーケストラの授業にもご参加くださり、テンポの急ぎやすい箇所の注意や、ダイナミクスの変化、音符の長さや表情など、実際に一緒に吹いていただきながら多くの指示を与えてくださり、ファゴットの学生のみならず、多くの学生にとって素晴らしい授業となりました。

